

此の地の幼児教育状況の大なる原動力の一を茲に見る。

又岡山市保育會は、市學務課長を會長とし市立幼稚園托兒所の職員を以て會員とし、毎月輪番に研究保育會を開催し理論の研究と共に實際保育の充實を計る。

なほ昭和三年には縣保育指導委員なるものを置き、縣下の保育状況の充實を計ると。

保姆各位の熱誠に加ふるに斯く力強き當局識者の聲援研究機關の活躍は、即ち今日の岡山に於ける名實共に盛なる幼児教育を實現せしめた大なる源泉であると思はれる。(以下次號)

氏原、膳兩女史のレコード

倉橋惣三

我國の幼稚園は如何なる出發をしたか。どういふ保育法が行はれ、どういふ唱歌がうたはれたか。

それは系統的に幼稚園史を研究しようとするものでなくとも少なからず興味を感ぜられることである。殊に、保育項目の中で、他のものは大體外國の型を學び得たとしても、唱歌ばかりは、その儘の歌詞、そのまゝの曲譜を用ゐる譯にゆかなかつた。それを新作し、新曲する上に、如何に多くの苦心が費されたであらうかといふことだけでも、いろ／＼想像を促して來るのである。しかも、當時の歌を如何にして保存すべきか、私達は、その昔の聲をそのまゝ聽く爲に、どうしたら、か——我國最初の保姆として、今も若い、元氣な、美しい聲の所有者たる氏原、膳兩女史に請ふて、昔の幼稚園唱歌のレコード吹込みを願つたのは此爲めである。

全國幼稚園の方々、教育に興味をもたる、方々に、此の一種の國寶的レコードをおすゝめする。

(廣告御參照を乞ふ)